

## 参考資料 個別目標一覧

分野	目標項目	目標の方向	現状	目標(H35)(2023)	出典
胎生期	妊婦を対象とした歯科保健指導を実施している市町村の増加	増	17 市町村	25 市町村	市町村母子保健事業報告(H29)
乳幼児期	3歳でう触のない児の割合の増加	増	86.4%	90%	市町村母子保健事業報告(H29)
	3歳までにフッ化物歯面塗布を受けている児の割合の増加	増	77.0%	80%	市町村母子保健事業報告(H29)
	3歳児の間食として甘味食品・飲料を1日3回以上飲食する児の割合の減少	減	18.2%	15%	市町村母子保健事業報告(H29)
	3歳で不正咬合等が認められる者の減少	減	11.3%	7.5%	市町村母子保健事業報告(H29)
	3歳児でかかりつけ歯科医で定期健診(年1回以上)を受けている者の割合の増加	増	未把握	—	調査予定
	1歳児に口腔機能育成関連保健指導を実施する市町村の増加	増	未把握	—	調査予定
学齢期	12歳児の一人平均う歯数の減少	増	0.7本	0.5本	学校保健統計調査(H29)
	17歳における歯肉に炎症所見を有する者の減少	減	25.3%	20%	学校保健統計調査(H29)
	高校3年生(18歳)で、定期的に歯石除去・歯面清掃を受けている者の割合の増加	増	18.0%	30%	教育委員会健康体育課調査(H30)
成人期	40歳で喪失歯のない者の割合の増加	増	62.4%	65%	成人歯科保健実態調査(H29)
	40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	減	58.6%	35%	成人歯科保健実態調査(H29)
	40歳代における歯石除去や歯面清掃を定期的に受ける者の割合の増加	増	32.4%	50%	成人歯科保健実態調査(H29)
	40歳代で歯間清掃用具を使用する者の割合の増加	増	60.1%	75%	成人歯科保健実態調査(H29)
	50歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	減	68.3%	45%	成人歯科保健実態調査(H29)
	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	増	63.0%	75%	成人歯科保健実態調査(H29)

## 参考資料 個別目標一覧

分野	目標項目	目標の方向	現状	目標(H35)(2023)	出典
成人期	喫煙により歯周病にかかりやすくなることを知っている者の割合の増加	増	50.3%	75%	群馬県民健康・栄養調査(H28)
	歯周病が糖尿病のリスクであることを知っている者の割合の増加	増	未把握	—	調査予定
	オーラルフレイルという言葉を知っている者の割合の増加	増	12.2%	50%	成人歯科保健実態調査(H29)
高齢期	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	増	55.3%	65%	成人歯科保健実態調査(H29)
	70歳代で食事中にムセたりすることがない者の割合の増加	増	未把握	—	調査予定
	オーラルフレイル予防事業を実施する市町村の増加	増	未把握	—	調査予定
障害児(者)	障害児(者)入所施設や通所施設等での定期的な歯科保健指導実施率の増加	増	37.5%	45%	健康福祉部保健予防課調査(H27)
	障害児(者)の歯科疾患予防に取り組む歯科診療所の増加	増	30箇所	50箇所	群馬県歯科医師会認定障害児(者)歯科診療協力医(H29)
	障害児(者)の嚥下機能支援を実施する施設の増加	増	未把握	—	調査予定
要介護高齢者	介護老人福祉施設・介護老人保健施設での歯科保健指導実施率の増加	増	74.9%	85%	健康福祉部保健予防課調査(H29)
	在宅歯科診療に取り組む歯科診療所の増加	増	341箇所	400	医療施設機能調査(H28)
多職種連携による 歯科口腔疾患対策	糖尿病について医科と連携している歯科診療所の増加	増	未把握	—	調査予定
	在宅療養者等の摂食嚥下障害に関して多職種と連携している歯科診療所の増加	増	73箇所	100	医療施設機能調査(H28)
人材の確保 と育成	市町村等の歯科関連事業で活動する住民ボランティアの増加	増	未把握	—	調査予定

※「目標の方向」は、現状値より増加を目指すものを「増」、現状値より減少を目指すものを「減」としています。